

佐渡裕

指揮

ブラームス

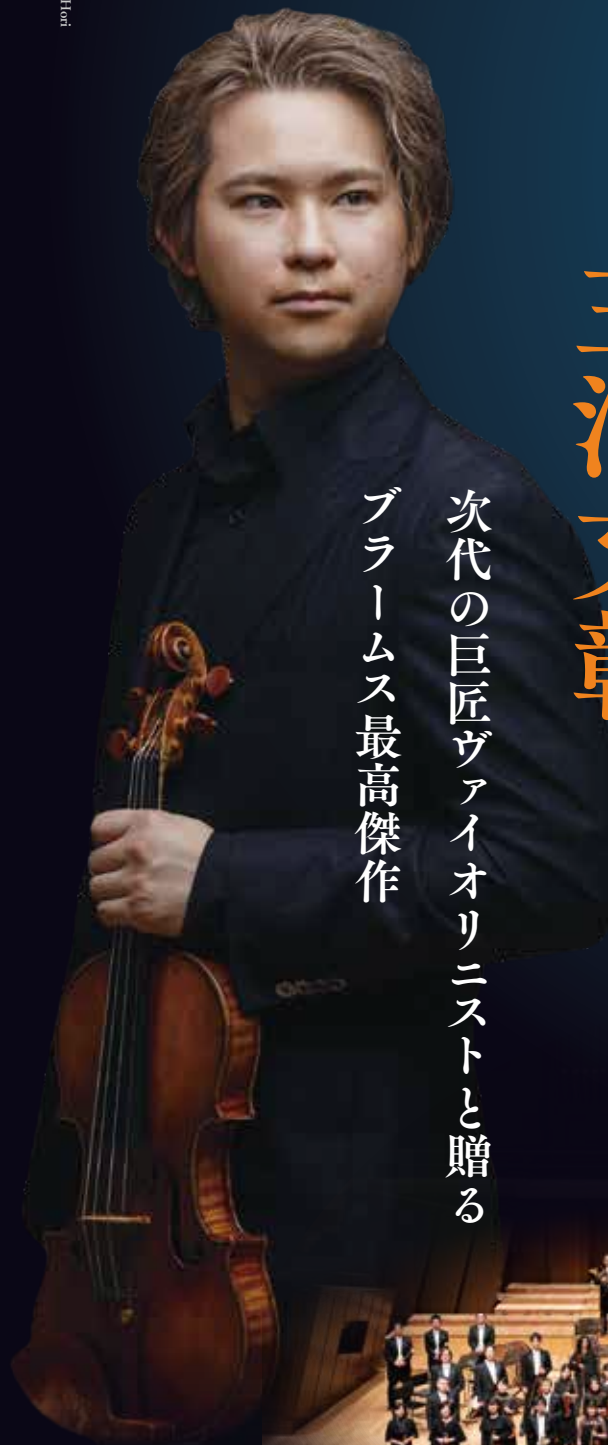
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.77

交響曲第1番 ハ短調 Op.68

新日本フィルハーモニー交響楽団

ヴァイオリン 三浦文彰

次代の巨匠ヴァイオリニストと贈る
ブラームス最高傑作



© K.Miura

2026 5.29 金

19:00 開演
[18:15 開場]

福岡シンフォニーホール

アクロス福岡 福岡市中央区天神1丁目1-1

チケット料金(全席指定 / 税込)

S席 11,000円 / A席 10,000円 / B席 9,000円 U25 4,500円

※事情により公演内容が変更となる場合があります。未就学児童の入場はご遠慮願います。

一般発売 / 12月14日[日]

アクロスWEB先行発売 / 12月6日[土]

主催 | 読売新聞社、FBS 福岡放送、(公財)アクロス福岡
後援 | 福岡市

プレイガイド

アクロス福岡チケットセンター(2F) 092-725-9112

アクロスWEB チケット

チケットぴあ

ローソンチケット

イープラス

<https://www.acrosticket.jp>

<https://t.pia.jp> (Pコード: 310-218)

<https://l-tike.com> (Lコード: 81488)

<https://eplus.jp>

公演に関するお問合せ | アクロス福岡チケットセンター

092-725-9112 (10:00~18:00)

世界で活躍する佐渡裕、アクロス福岡に2年ぶりに登場！

トップアーティストの「響宴」で味わうブラームス！

音楽評論家 奥田佳道

マエストロ佐渡裕とヴァイオリンの三浦文彰がブラームスを奏でる。ファン憧れのトップアーティストの「響宴」に胸ときめく。愛すべきキーワードが浮かぶ。音楽の都ウィーンだ。佐渡も三浦もウィーンから檜舞台に羽ばたいた。ドイツ北部の港街ハンブルクに生れたブラームスも20代の終わりからウィーンに住み、ゴールドの装飾もまぶしい、あの楽友協会の監督も務めた。ブラームスはお気に入りの避暑地で創作のペンを執る夏の作曲家だった。傑作の誉れ高いヴァイオリン協奏曲は、オーストリア南部ヴェルター湖畔の美しい村ペルチャッハで書かれた。壮大にして優美。三浦が紡ぐ流麗かつ技巧的なソロパートばかりでなく、オーケストラがまた素晴らしい。夢見るような調べもハンガリー舞曲に通じる躍動感も聴こえてくる。練達のキャリアを誇る佐渡が、劇的な交響曲第1番に腕をふるう、と記しただけで早くも興奮を隠せないファンも多いことだろう。ここへきて演奏のクオリティをぐっと高めている新日本フィルハーモニー交響楽団と佐渡のステージは、いま音楽シーンの華だ。喝采が早くも聴こえてくるかのよう。ブラームスづくしのロマンティックなコンサート。開演が近づいてきた。



© Masahiro Uto

三浦文彰

Fumiaki MIURA (ヴァイオリン)

ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。18年サントリーホールARKクラシックのアーティスト・リーダー、24年に宮崎国際音楽祭の音楽監督に就任。ロサンゼルス・フィル、マリンスキー劇場管、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ響、NDRエルブ・フィルなどと共演。共演した指揮者ドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカマン、ロウヴァリ、フルシヤなど。ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務めた。室内楽では、ズーカマン、マイスキー、ピリスなどと共演。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題になった。24年、デビュー15周年を迎え、ベートヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い絶賛を博した。25年には、フィルハーモニア管、バンベルク響と共演。CDはエイベックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。使用楽器は株式会社クリスコ（志村晶代表取締役）から貸与された1732年製ガッラルネリ・デル・ジェス「カストン」。

佐渡裕

Yutaka SADO (指揮／音楽監督)

京都市立芸術大学卒業。レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。95年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ケルンWDR交響楽団、バイエルン国立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2025年6月までオーストリアの名門トーンキュンストラ管弦楽団音楽監督を10年間務め、その後同楽団名誉指揮者に就任。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者、「サントリー1万人の第九」総監督などを務める。CD録音は多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した22枚目のCD「マーラー：交響曲第6番」。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」（新潮文庫）、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫／新書)など。

オフィシャルファンサイト
<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



© Peter Rigaud c/o Shotview Artists

新日本フィルハーモニー交響楽団 NEW JAPAN PHILHARMONIC SUMIDA, TOKYO

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。

99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕（75～79年）、第2代音楽監督・井上道義（83～88年）、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク（03～13年）、第4代音楽監督・上岡敏之（16～21年）。ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP（10～16年）、インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence（13～15年）、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ（W.D.O.）音楽監督（04～25年3月）、Music Partner（20～25年3月）を務めた。受賞歴に三菱信託音楽奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト：www.njp.or.jp 公式X：@newjapanphil
公式Facebook：/newjapanphil 公式Instagram：/newjapanphil



© K.Miura

●本公演のチケット料金は消費税込みの価格です。●U25(アンダー25)割引は、公演当日に25歳以下の方を対象として表記料金にて販売するものです。必ず公演当日に生年月日を証明できるものをお持ちください。●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者1名さまについては、障がい者割引の適用が可能です。お申し込みはアクロス福岡チケットセンターに限りません。また購入に際しましては、障害者手帳が必要です。●車椅子でお越しの方は、優先割引席(4席)がございます。詳しくはアクロス福岡チケットセンターまでお問い合わせください。●小学校入学前のお子さまの入場はできません。託児サービス(ご利用無料)を希望される方は、下記をご覧ください。●バルコニー席は、舞台が見えづらい場合がございます。ご了承ください。●諸事情により記載内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。



託児サービスのご案内(ご利用無料)

託児サービス(生後3か月から小学校入学前のお子さま)をご希望の方は、チケットご購入の後、右記にお申し込みください。受付は公演前日(土・日・祝日は受付を行いません)までですが、定員になり次第、締め切らせていただくことがあります。

お問い合わせは
☎0120-8000-29 TEL.092-263-8040
(株)テコ・コーポレーション(月～金曜日9:00～18:00)